

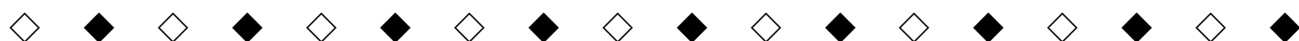


再開・再会を待ちながら

校長 関川 健

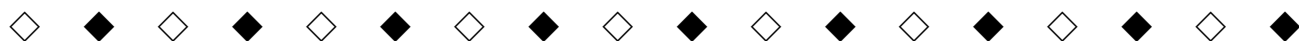
風薫る5月となりました。今年的大型連休は、誰もが初めての経験となる Gaman Week と Stay Home Week とも言われましたが、各ご家庭では様々な工夫を凝らしながら外出自粛等の生活をされてきたことと思います。全ての行動変容は、新型コロナウイルスの感染拡大の抑制、自分だけでなく大切な誰かの命を救うためという大きな目的のために行っています。この努力の成果は今後徐々に表れてくると信じたいところではありますが、緊急事態宣言は延長され、学校の臨時休業も5月31日まで続くことになりました。子供たちはもとより、保護者の皆様も不安な日々をお過ごしかと思います。

これまでの期間において、私は状況に応じてテレワークができましたし、休日もできるだけ外出自粛もできました。しかし、安心してそれができるのは、医療に従事されている方々をはじめ、生活物資の販売、物流、インフラ事業など数え上げればきりがありませんが、使命感をもって社会生活を支えてくださっている方々がいるお陰であると改めて強く感じています。本当に頭が下がります。



さて、学校では、これまでも様々な再開日を想定しながら年間予定をシュミレーションしてきましたが、今は6月から教育活動が再開できることを信じて準備を始めています。約2か月のスタートの遅れは、学校行事や夏休みの期間などに影響してしまうと考えられますが、再開されれば、子供たちの学びのために全力を注ぐ覚悟です。

入学、進級以来続いている家庭学習に際しましては、保護者の皆様にも多くのご苦勞をおかけしております。前回は新しい学年が始まったらできるだけ円滑に授業に入ることができるようにと考え、前学年の復習的な内容を中心とした学習課題を配付しました。それを踏まえ今度は、可能な教科や分野につきましては、学年の発達段階を考慮して予習型の学習課題を用意しました。一人で学習を進めるのは大変かもしれませんが、是非励ましてあげてください。本来であれば、教師が適宜評価したり助言をしたりする双方向型で行いたいのですが、臨時休業中の登校は課題配付の1回を限度としているので、それは難しい状況です。しかし、教師の指導・助言が必要だと感じた場合は、遠慮なくご相談ください。担任から各ご家庭への電話連絡の時でも対応可能です。予習型で取り組んだ家庭学習の内容を含め、学校が再開しましたら、授業を適切に行ってまいりますのでご安心ください。



物事は前向きに捉えたいと常々考えています。学校の授業は止まってしまいましたが、多くの子供たちにとっては、こんなにもたくさんの復習をする機会は初めてのことだったと思います。恐らく、基礎・基本の定着が進んだはずで、また、誰かに教わらなくても新しい事柄を学び、身に付けることができたという自信をもてたかもしれません。さらに、自分で決めたことを自分が考えたやり方でやる、という主体的な実践ができたかもしれません。この“主体的”な行動(学び)は、これからの時代を生きていくためにとても大切な姿勢です。是非とも、残りの休業期間中にも実践してほしいと思います。

私の家の近所に2年生になった女の子がいます。学校から出た体育の課題に、「縄跳び100回連続で跳ぶ」があったようで、毎日頑張っていました。初日から数日間は、いくら頑張っても10～15回で引っ掛かり、投げ出しそうになっていました。ところが、ある日突然、一気に100回を超えたのです。リズムが安定し、無駄な動きがなくなったからです。子供の力はすごいと改めて感じました。